



ゆう&あい

9月号
平成26年
8月24日発行

優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛 友愛 You and I 優Eye 優・愛

播磨町ボランティアセンター・播磨町善意銀行
発行所：社会福祉法人 播磨町社会福祉協議会 TEL079(435)1712

今年も開催できました！ 親子でピチャピチャみずあそび



8月7日(木)、おもちゃルーム“きらきら”の開催日にあわせて、福祉会館の屋上に、2時間だけのプールがOPEN！ その名は“親子でピチャピチャみずあそび”。今年は、台風11号が近づいており、天気予報も「曇りのち雨」で、開催できるだろうかと心配していましたが、そんな心配はどこか空!? きっちり晴れました。当日は28組の親子 60人のちびっ子が遊びに来てくれました。「10かぞえる間、顔をつけれるよ」と見せてくれる子がいれば、足が水に触れただけで泣き出す子もいました。本当に暑かったので、早々と部屋に入っておもちゃで遊ぶ子が多く、1番最初に来てくれた男の子と2番に来てくれた女の子は、最後の最後まで水遊びを楽しんでくれました。

さてさて、来年の話をするとう鬼が笑うかもしれませんが、どんな楽しみが待っているかな!?

この事業は、赤い羽根共同募金の配分を受け、実施しました。

介護支援ボランティア養成講座・秋コース 参加者 募集

地域で高齢者を支えるしくみづくりと、ボランティア活動を通じた生きがいづくり・介護予防の推進をめざして、介護支援ボランティア養成講座を行います。

- ◇日程・内容：①10月8日 ・ボランティア活動の基本・播磨町の介護保険の現状と高齢者の理解
② 22日 ・基礎介護技術 ～外出・移動の支援～
③11月5日 ・認知症の理解と支援
④ 19日 ・ボランティア活動の実践を聴く
水曜日 全4回 13：30～15：30

◇場所：播磨町福祉しあわせセンター ◇募集人数：20名程度 ◇費用：無料
◇申込み・問合せ：播磨町地域包括支援センター Tel079-435-1841
10月3日(金)までにお申込み下さい。

受講生募集

権利擁護支援員養成講座



私達の地域で高齢者や障がい者の方がいつまでも安心・安全に暮らすことができるよう日常生活の相談にのり、見守る「権利擁護支援員」の養成講座です。さまざまな分野で活躍する講師から、一緒に楽しく基礎知識を学びましょう。

【開講日】

平成26年9月30日(火)～11月25日(火)
全9回毎週火曜日 10時～12時

【対象】

播磨町在住・在勤の方 20名

【参加費】 無料

【場所】

播磨町福祉しあわせセンター



【プログラム】

開講日	内容
① 9月30日(火)	開講式・オリエンテーション 成年後見制度について
② 10月7日(火)	市民後見について
③ 10月14日(火)	高齢者・認知症高齢者の理解とコミュニケーション
④ 10月21日(火)	障害の理解とコミュニケーション
⑤ 10月28日(火)	傾聴① 役割と意義
⑥ 11月4日(火)	傾聴② その技術を身につける
⑦ 11月11日(火)	プライバシー保護
⑧ 11月18日(火)	福祉サービスの利用の仕方 1.障がい者の場合 2. 高齢者の場合
⑨ 11月25日(火)	修了後の活動について (関係機関・団体の紹介とその役割) グループワーク「学びの共有」

問合せ・申込み

播磨町権利擁護まちづくり委員会
事務局：播磨町社会福祉協議会
TEL.079-435-1712
FAX.079-436-5610

伝言板

このページに関する問合せは
播磨町社会福祉協議会
TEL.079-435-1712

心配ごと相談

秘密厳守

日時 毎週火曜日
13時～16時
場所 福祉しあわせセンター

法律相談

弁護士により月1回、実施します。
成年後見制度のご相談も
お受けします。

◎法律相談をご希望の方は、事前に心配ごと相談をお受けください。

おもちゃルーム “きらきら” 9月の開設日

日時 9月4日(木)・20日(土)
10時～12時
場所 播磨町福祉会館

知的障害者(児)相談

日時 第2土曜日
10時～11時30分
場所 石ヶ池パークセンター

子育て相談

日時 9月22日(月)
13時30分～16時
場所 福祉しあわせセンター
主任児童委員がご相談をお受けします。

福祉相談

日時 9月3日・17日(水)
13時30分～16時
場所 福祉しあわせセンター
民生委員・児童委員が
ご相談をお受けします。

困りごと相談

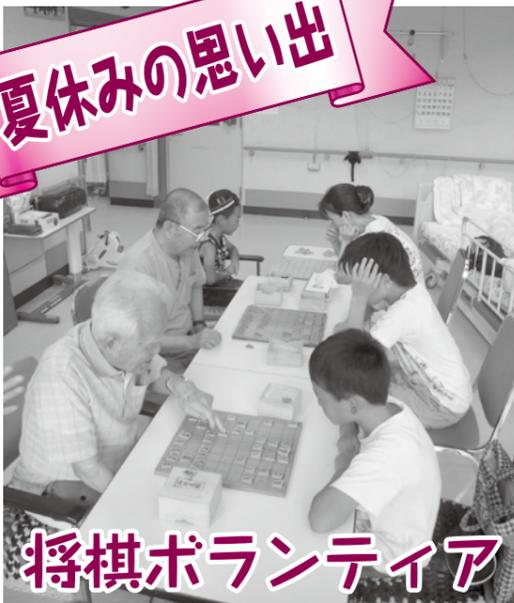
秘密厳守

日時 9月11日・25日(木)
場所 福祉しあわせセンター
播磨町人権擁護委員が
ご相談をお受けします。

認知症家族の会

日時 9月13日(土)
13時30分～15時30分
場所 福祉しあわせセンター
内容 懇談会

夏休みの思い出



将棋ボランティア



一日保育士体験教室

今年も、小学生から大学生を対象とした夏休みを利用したの事業を実施しました。
 ↑ボランティアセンターでは、播磨中央保育園のご協力により、
 ←↓一日保育士体験教室を、デイサービスセンターでは、利用者さんと地域の子どもたちが交流できればと「将棋ボランティア」と「ふれあい工作会」を開催しました。

ふれあい工作



喜寿お祝い写真撮影希望者募集

敬老月間に際し、喜寿を祝い、播磨町社会福祉協議会の事業として写真撮影を行い、記念品として贈呈させていただきます。

【対象者】
 播磨町在住の昭和13年1月1日から12月31日までにお生まれになられた方

【日時と撮影場所】
 9月10日(水) 野添コミセン 9:30~11:30
 9月12日(金) 福祉会館 9:30~11:30

郵便番号・住所・氏名・生年月日・電話番号・希望場所をご記入の上、9月3日(水)までにお申し込み下さい。

お申し込みはハガキ又はファックスで
 申込先 〒675-0147
 播磨町南大中1丁目8-41
 播磨町社会福祉協議会 宛
 FAX.079-436-5610

【問合せ先】
 播磨町社会福祉協議会
 TEL.079-435-1712

寄付者ご芳名

あたたかい善意ありがとうございました。
 (平成26年7月8日~8月7日)
 (所得税法第78条第2項第3号該当
 法人税法第37条第2項及び第3項第3号該当)

●福祉のために (敬称略)

地区名	氏名	金額
大 中 東 匿	名	5,000円

(団体の部)

団体名	金額
播磨町民生委員 ・ 児童委員協議会 (ゆうあい園へ チャリティ基金)	60,010円
播磨町民生委員 ・ 児童委員協議会 木曜会 (ゆうあい園へ バザー収益金)	50,000円

●今月の払出状況

子どものいない高齢者のお誕生日祝い	24,000円
要 援 護 世 帯 米 代	2,991円

10月開始

楽々くらぶ事業 後期の参加者 募集!!

~元気なうちから、介護予防を始めませんか?~

「ちょっとした段差でつまずいたり、歩行中にバランスを崩してよろけてしまう」「お茶やみそ汁を飲むとよくむせる」「なんだか体重が減ってきたみたい」「お友達や近所の方との付き合いがなんだかおっくうで・・・」というようなことはありませんか? 住み慣れた播磨町でいつまでも元気ですごすために、介護予防教室を開催しています。

対象 65歳以上の方で、介護予防基本チェックリストにより、生活機能の低下が認められた方 (介護保険サービス利用中の方は除きます)

内容 作業療法士や理学療法士、栄養士、歯科衛生士などの専門スタッフの指導により、軽く運動したり、健康づくりの話を聞いたり、季節の行事を楽しみます。
 各会場で週に1回、月4回まで開催。
 月3回 午前9時30分~11時30分 (1回200円)
 月1回 (昼食あり) 午前9時30分~午後1時30分 (1回200円+昼食代600円)

【プログラム例】

9:30	・ 血圧測定 ・ 健康相談
10:00	・ 介護予防体操 ・ 各プログラム
11:00	・ ティータイム ・ 個別相談
11:30	終了

運動器の向上

療法士などの指導のもと、ストレッチやバランス運動など運動器の機能向上のための体操などを行います。



栄養改善

管理栄養士などの指導のもと、バランスの良い栄養摂取についてのお話や相談があります。



口腔機能の向上

歯科衛生士の指導のもと、口腔清掃や口腔リハビリなどお口の健康についてのお話や相談があります。



会場 南部コミセン (火曜日) 西部コミセン (水曜日) 野添コミセン (木曜日) 福祉会館 (金曜日)

※必要な方には送迎もあります。

お申し込み・お問い合わせ
 播磨町地域包括支援センター
 電話079-435-1841

ほのぼのの便り

織田信長が明智光秀に本能寺で殺されたのが、五〇歳くらいでした。当時、人の寿命はこれくらいだと考えられていたのか、十分に生きた、もういいか、だったのでしょうか。先日、日本人男性の平均寿命が八〇歳を超えたようで、めでたいことです。人は平均寿命で自分があと何年生きる事が出来るのか、予測をしたりします。お医者さんの話では、人口の減少に伴い、病院はこれ以上増えないとの事。人口は減っても二〇二五年はやってきます。ということ。は、ベッド数が足らなくなる。退院の時期が早まり、多くの人が弱った状態のまま家に帰ることになる。若い人なら未だしも、高齢者となると...

最近、自助、互助と言ったことを聞きます。病気になる、ケガをしない、自分の身は自分で守る(自助)もしも介護を受ける身になったら家族、近所の人たちに助けてもらいましょう(互助)。介護保険がスタートした十数年前、「今までは介護は家族の問題でしたが、これからは、国を挙げて取り組みます。」との内容の記事が新聞紙面を賑やかしました。

二〇〇六年京都で起きた「地裁が泣いた」事件が、当時話題になりました。このような出来事が、当たり前の中にならないうように、福祉を担う一人として微力ながら協働できればと思っています (内)